

1. 次の語群のうち、関係のないものを選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|------|----------|-----------|--------------|----------|
| (1) | (イ) 藤波遺跡 | (ロ) 岩偶 | (ハ) 伊勢新名所絵歌合 | (ニ) 弥生 |
| (2) | (イ) 勝田 | (ロ) 馬瀬 | (ハ) 一色 | (ニ) 通 |
| (3) | (イ) 月僊 | (ロ) 伊藤小坡 | (ハ) 磯部百鱗 | (ニ) 荒木田麗 |
| (4) | (イ) 宇治 | (ロ) 岩渕 | (ハ) 継橋 | (ニ) 二見 |
| (5) | (イ) 渥美郡 | (ロ) 朝熊山 | (ハ) 小町塚 | (ニ) 南山 |
| (6) | (イ) 筋向橋 | (ロ) 離宮院 | (ハ) 神嘗祭 | (ニ) 大淀港 |
| (7) | (イ) 山田三方 | (ロ) 葉書 | (ハ) 藩札 | (ニ) 山田奉行 |
| (8) | (イ) 北川矩一 | (ロ) 尾崎一雄 | (ハ) 尾崎行雄 | (ニ) 浜田国松 |
| (9) | (イ) 西行 | (ロ) 生方たつゑ | (ハ) 山口誓子 | (ニ) 橋本平八 |
| (10) | (イ) 世木神社 | (ロ) 須原大社 | (ハ) 宇治神社 | (ニ) 高向神社 |

2. 次の文章の空欄にあてはまる語を各語群より選びなさい。

古市街道を歩いて宇治に近づくと急な(11)と呼ばれる坂があり、降りきったところに(12)と呼ばれる宇治の町に入る門があった。左折するとすぐ見える神社は、(13)の神といわれる猿田彦神社である。浦田町の交差点付近にあった御師(14)大夫邸の門が、現在祭主職舎の門となっている。浦田町の実業家のあったところが、(15)神主邸で、ここに植えられている松が、(16)と呼ばれているものである。(11)を改修したことで功績の高い(17)が、神宮神主としてはじめて高い位をもらったことに由来する松である。内宮への旧参宮街道を進むと宇治で比較적으로残っている御師の家がある。山本数馬大夫邸で、現在はもと御師の(17)家となっている。右手の高台に見える墓地には、宇治橋や内宮の式年遷宮を復興した(18)などの五輪塔がある。墓地の御幸道路を挟んだ西側には、中世に神宮の祭祀や神事をまとめた(19)や俳諧の祖といわれる(20)の墓がある。小さな川(21)を越えると右手に現在祭主職舎として利用される江戸時代初期の建築で国の重要文化財となっているもと尼寺の(22)がある。客殿には、(23)筆の廿四孝の極彩色の絵があったといわれる。裏庭は、庭園造りで著名な(24)の作といわれる。また、土塀には、勅願寺であることを示す(25)本の白線が入っている。赤福本店の横にかかる(26)と呼ばれる橋は、内宮宮域内の現神楽殿付近に居住していた人々の家を、大火をきっかけに移転させてできた館町にいたるために架けられたものである。そこより少し内宮側へいくと右手にはいる道沿いに、鎌倉時代、元の襲来を防ぐため、天照大御神に大般若経を転読奉納した(27)のあったことを示す石碑が建っている。(27)の裏側(西側)には、宇治の自治組織であった(28)の建物があつたところで、現在駐車場脇にそのことを示す石碑が建っている。かつて、宇治には(29)ヶ寺があつたが、明治以降、寺は存在しない。宇治橋前駐車場の西側高台には、江戸時代に宇治の人々が建てた学校兼図書館である(30)が昔のまま存在する。

- | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|
| (11) (イ) 牛鬼坂 | (ロ) 馬追坂 | (ハ) 牛山坂 | (ニ) 牛谷坂 |
| (12) (イ) 赤門 | (ロ) 白門 | (ハ) 黄門 | (ニ) 黒門 |
| (13) (イ) 縁結び | (ロ) 道開き | (ハ) 地震 | (ニ) 福寿 |
| (14) (イ) 車館 | (ロ) 山本 | (ハ) 次郎館 | (ニ) 太郎館 |
| (15) (イ) 出口 | (ロ) 佐八 | (ハ) 藤波 | (ニ) 度会 |

- (16) (イ) 三位の松 (ロ) 根起松 (ハ) 一位の松 (ニ) 二位の松
- (17) (イ) 氏家 (ロ) 氏富 (ハ) 氏経 (ニ) 氏良
- (18) (イ) 周養 (ロ) 聖純 (ハ) 清順 (ニ) 清鳳
- (19) (イ) 荒木田氏経 (ロ) 荒木田氏常 (ハ) 荒木田氏康 (ニ) 荒木田氏益
- (20) (イ) 藺田守剛 (ロ) 藺田盛武 (ハ) 藺田守武 (ニ) 藺田守利
- (21) (イ) 姫小川 (ロ) 清子川 (ハ) 聖川 (ニ) 清川
- (22) (イ) 慶晃院 (ロ) 恵光院 (ハ) 慶光院 (ニ) 啓光院
- (23) (イ) 磯部百鱗 (ロ) 狩野探幽 (ハ) 狩野永徳 (ニ) 月僊
- (24) (イ) 小堀円周 (ロ) 木堀遠州 (ハ) 古堀円州 (ニ) 小堀遠州
- (25) (イ) 五 (ロ) 四 (ハ) 三 (ニ) 二
- (26) (イ) 古橋 (ロ) 館橋 (ハ) 鈴橋 (ニ) 新橋
- (27) (イ) 神楽社 (ロ) 法楽社 (ハ) 法楽舎 (ニ) 経楽舎
- (28) (イ) 三方会合所 (ロ) 宇治集会所 (ハ) 内会合所 (ニ) 宇治会合所
- (29) (イ) 20 (ロ) 30 (ハ) 43 (ニ) 52
- (30) (イ) 豊宮崎文庫 (ロ) 宇治文庫 (ハ) 林崎文庫 (ニ) 神宮文庫

3. 次の語群のつながりで、誤っているものを選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| (31) (イ) 野口みずき－宇治神社 | (ロ) 澤村栄治－一誉坊墓地 |
| (ハ) 杉木普斎－明倫小学校 | (ニ) 荒木田久老－賀茂真淵 |
| (32) (イ) 高倉山古墳－豊川町 | (ロ) カリコ遺跡－大仏山 |
| (ハ) 昼河古墳群－世界祝祭博 | (ニ) 南山古墳－朝熊山スカイライン |
| (33) (イ) 離宮院－JR 宮川駅 | (ロ) 桶子遺跡－近鉄五十鈴川駅 |
| (ハ) 度会府庁跡－近鉄宇治山田駅 | (ニ) へんば餅－近鉄小俣駅 |
| (34) (イ) 山田奉行－寺社奉行 | (ロ) 大塩屋御蔭－小林 |
| (ハ) 世義寺－大護摩 | (ニ) 小俣－和歌山・鳥羽藩領 |
| (35) (イ) 徳川家康－梅香寺 | (ロ) 尾崎行雄－浜田国松 |
| (ハ) 橋本平八－倭姫命 | (ニ) 北園克衛－橋本健吉 |

4. 次の文章を読んで適語を各語群より選び、記号で答えなさい。

(36) 山田羽書は何と交換されましたか。

- (イ) 銅貨 (ロ) 銀貨 (ハ) 生糸 (ニ) 切手

(37) 初午祭りで著名な寺は何処ですか。

- (イ) 松木観音 (ロ) 松尾観音 (ハ) 須原観音 (ニ) 岩出観音

(38) 織田信長の御師は誰ですか。

- (イ) 上部大夫 (ロ) 福島大夫 (ハ) 福井大夫 (ニ) 春木大夫

(39) 足利義満は伊勢へ何度参宮しましたか。

- (イ) 1度 (ロ) 3度 (ハ) 11度 (ニ) 20度

(40) 幕末最後の山田奉行は何藩の藩主ですか。

- (イ) 紀州藩 (ロ) 桑名藩 (ハ) 藤堂藩 (ニ) 神戸藩

(41) 円空仏四体がある寺はどこですか。

- (イ) 寂照寺 (ロ) 等観寺 (ハ) 金剛証寺 (ニ) 中山寺

(42) 福島御塩焼大夫の御塩焼は何と読みますか。

- (イ) みさき (ロ) おんしおやき (ハ) みしおやき (ニ) おしおやき

(43) 全国でも類例のない羨道部石積横穴式木室の確認された古墳は何という古墳ですか。

- (イ) 北山古墳 (ロ) 東山古墳 (ハ) 西山古墳 (ニ) 南山古墳

(44) 近鉄小俣駅の近くにある旧石器時代の遺跡は何という遺跡ですか。

- (イ) ママ田遺跡 (ロ) カリコ遺跡 (ハ) 佐八藤波遺跡 (ニ) 高向遺跡

(45) 角屋七郎兵衛が鎖国後留まったところはどこですか。

- (イ) ルソン (ロ) タイ (ハ) 安南 (ニ) 台湾

(46) 平安時代の隠岡遺跡には何があったと考えられていますか。

- (イ) 度会氏の居宅 (ロ) 荒木田氏の居宅
(ハ) 大中臣氏の居宅 (ニ) 隠岡氏の居宅

5. 次の文章で誤っているものを選び、記号で答えなさい。

- (56) (イ) 伊勢市内で銅鐸が出土している。
(ロ) エリザベス女王は神宮に来られた。
(ハ) 杉木普斎は千利休の弟子である。
(ニ) お蔭参りは抜け参りから始まった。
- (57) (イ) 河崎町は濠で囲まれた町である。
(ロ) 天王祭で著名な神社は箕曲中松原社である。
(ハ) 東大淀町の佐登中神社は御頭神事で有名。
(ニ) 古市の遊女が篤く信仰していた神社は長峯神社である。
- (58) (イ) 古市に象が来たことがあった。
(ロ) 三大遊郭は、油屋・備前屋・千束屋といわれた。
(ハ) 芝居小屋は、歌舞伎役者の登竜門といわれた。
(ニ) 遊女は、茶汲み女といわれた。
- (59) (イ) 二軒茶屋の地名は、「角屋」と「津屋」の二軒があったことによる。
(ロ) 二軒茶屋で、明治天皇が船から上陸されたことがある。
(ハ) 鎌倉時代、船江まで敵兵が攻めてきたことがある。
(ニ) 船江の朧が池は、もと宮川の支流であった。
- (60) (イ) 御師は、神宮の神主でないとなれなかった。
(ロ) 大塩平八郎は、足代弘訓を頼って伊勢に来た。
(ハ) 宮川の渡しの船賃は、無料であった。
(ニ) 伊勢市役所の敷地は、もと御師三日市家の敷地であった。